



← 来年以降
この先約3kmにわたり
植栽ある計画 続く続く
まだまだ続く

マツボックリが種子を
お出するまで。開花から
1年半かかる。来年度の春に
には実がなるといふなあ

防波堤をのぼる階段に石が
堆積して もはや階段ではない
石は土埋め、足をとられながらのぼり
きると、そこには8時間ボランティアの
ごほうびが!!
180度広がる海!!

盛土のための土を運んでくるダンプ
30ヶ所以上の地域から土が運び込まれる
平成28年度の植栽地まで盛土完成
29年度以降の土地への盛土はこれから始まる

宮城県仙台市
閉上地区 方面
宮城県岩手県
福島県 方面

閉上名物
赤貝とみそ汁

平成26年度植栽地 全長1.5km
クマキ
この土は
チノ素・リン・カリ
成分ゼロ
無機物の土も
成育不良!!

植栽して2年目 まだ3割4割の
クマキにマツボックリがついた。
しかもこのエリアのクマキだけ
通常15~20年かかるといわれるが!
プロジェクトのマツは早熟?!

防波堤 (高さ7m)
ハヤブサ
このスピードでカラスに
追いつけるのか?

ANA
飛行機の
真下で写真を撮る
スポット
しかもさげる
ものない
広い場所
で撮影が
できる!!

平成27年度植栽地 全長0.5km
キジ
二セアカサ並木
車にひかきキジがとる程
警戒している
要注意!

赤松次郎
黒松木郎
ここに寄附者プレート設置しました

植栽地にポツ
と卵の落ちて物
言いのどおろ??
うめなていどか?

ハードルフェンスは
北海道大学名誉教授の
東三郎先生が考案した
もの。
隙間の間隔も
適度に風を通す
ように計算して
作られている。
宮城県の木材を活用し
作られて
いる

ハードルフェンス (防風柵)に
ポツととまっているカラスに
ハヤブサがけんがを仕掛けよう
している。何も知らないカラスは...

アキツメ
キツネ
どこから遊びに来たのさ?
キツネも見かける

木はけか
非常に臭いエリア
根腐れが心配
ボランティアさん大活躍!
排水路を作っていたら
木はけをよくしている。
これが交果林群

クマキ
クマキの
おそろい
クマキ
クマキ

クマキの大量発生地帯
旧1mも伸びるとも
いわれる。
クマキに巻きつかない
おボランティアさんの手を借り
早目の退治をしている

平成26年度植樹祭
記念碑
植えた時25cm(ほど)だった苗
は1年経ち80cmに!!
大きくなったもんだなあ

アキツメ大量発生地帯
シロツメとは違い背丈が60cm
程にまで成長するため、クマキの
日照をささげる

アキツメ大量発生地帯
シロツメとは違い背丈が60cm
程にまで成長するため、クマキの
日照をささげる

クマキの大量発生地帯
クマキの大量発生地帯
クマキの大量発生地帯

クマキの大量発生地帯
クマキの大量発生地帯
クマキの大量発生地帯

この辺り、
カニの巣が大量
にある。作業中に
見つけたカニはかわいく
気持ちがほぐれる

元の植生を戻すため
防波堤盛土をしない場所がある

いちばん内陸側の2列だけ広葉樹を植栽
ヤマブキ、クマキ、クマキ
クマキは成長率の育成率なのに車道で
広葉樹はキビシイ

植栽地のすぐ後ろに144棟のビニールハウス
が完成。7月2日初めてアキツメの初出荷
(震災前は1000棟あった)

アキツメの大量発生地帯
アキツメの大量発生地帯
アキツメの大量発生地帯

アキツメの大量発生地帯
アキツメの大量発生地帯
アキツメの大量発生地帯

もう少し北の方に
広瀬という湿地
がある。夏にはオニヤンマ、イトトンボ
などがたくさん飛んでいる。
秋には赤いボがボランティアさんの
頭で休憩していることも

波打ち岸から
1kmのところに
第1育苗場がある。
ボランティア参加者の
集合場所

やちビニールハウス
が再建して野菜
の収穫ができる
ようになった。
アキツメの他に
小松菜、メロンも作
りたいんだ

内陸防風林
海沿いの場所
だけでなく、少し
内陸側に
ビニールハウスを守る
ためにアキツメを
植栽。ここでもマツは
活躍する!!

アキツメの大量発生地帯
アキツメの大量発生地帯
アキツメの大量発生地帯

アキツメの大量発生地帯
アキツメの大量発生地帯
アキツメの大量発生地帯

プロジェクトの見どころ紹介

広大な植栽地、場所によって特徴さまざま